

地震について

◆ 日頃から地震に備える

家具などを固定しましょう！

- 家具は固定し、上には重いものや危険なもの（ガラスケース等）を置かないようにしましょう。
- タンスなど背の高い家具はL型金具や突っぱり棒で固定したり、ストッパー式器具、転倒防止マットを使用しましょう。



◆ 地震発生! そのときどうする?

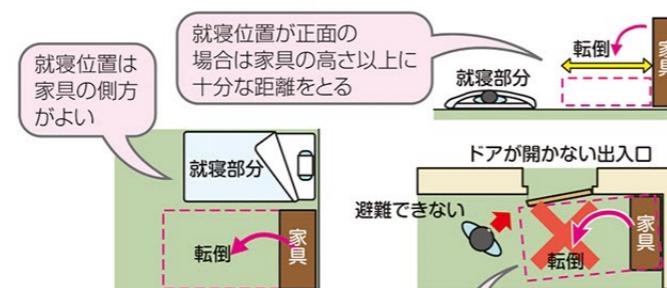
揺れがおさまるまで身の安全を確保!

立っていられないような大きな揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠します。座布団などが身边にあれば、頭を保護しましょう。



家具の配置にも工夫を！

● 室内の家具が大きな揺れで転倒した場合に、大けがをしたり、部屋に閉じ込められたりしないように、家具の置き場所を工夫する。



部屋の出入口付近の家具の転倒、収容物の散乱などによって、避難路が遮られることがあるので、なるべく家具を置かない方が安全です。

◆ 摆れがおさまったら ……

- 火の始末、ガスの元栓を閉める。
- 家族の安全を確認。災害用伝言ダイヤルサービス等を利用して連絡を取る。
- 瓦や看板、ガラスなどが上から落ちてくるおそれがあるため、あわてて外に出ない。
- テレビ・ラジオなどで正確な情報を集め、避難のタイミングを図る。

◆ 火災発生! そのときどうする?

万一火災が発生してしまったら『あわてず、騒がず、落ち着いて』行動しましょう。

① 早く知らせる!

火災を発見したら、大きな声で『火事だ!』と叫びましょう。小さな火事でも消えかけて、くすぶっている場合は速やかに119番通報をしてください。



② 早く消火する!

火災は発見が早ければ早いほど消火が簡単です。出火から3分以内が勝負です。まだ小さな火のうちなら水や毛布、消火器などで十分消火可能です。

③ 早く逃げる!

避難する時に恐れや焦り、迷いは禁物です。避難を決めたら再び中には戻らない。服装や物にはこだわらないで逃げることだけを考えてください。マンションなどではエレベーターを使わず、避難階段を使って逃げましょう。

火災で恐ろしいのは炎と同時に煙です。有毒ガスが含まれていて、吸い込むと中毒死や動けなくなってしまいます。煙を吸わないよう、姿勢を低くして避難しましょう。

地震防災マップの活用方法

◆ 揆れやすさマップとは

地震による地表での揆れの強さは、主に、「地震の規模（マグニチュード）」、「震源からの距離」、「表層の地盤」の3つの条件によって異なります。

一般的には、これらの3つの条件から、地表面における揆れの強さを推定し、地図上に表したもの「揆れやすさマップ」と呼びます。

「南海トラフ巨大地震」と「既に明らかとなっている断層等を震源とする安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震」の各想定地震を地図で表示しています。

揆れやすさマップの使い方

① 自宅の位置を確認



② 指定避難所を確認

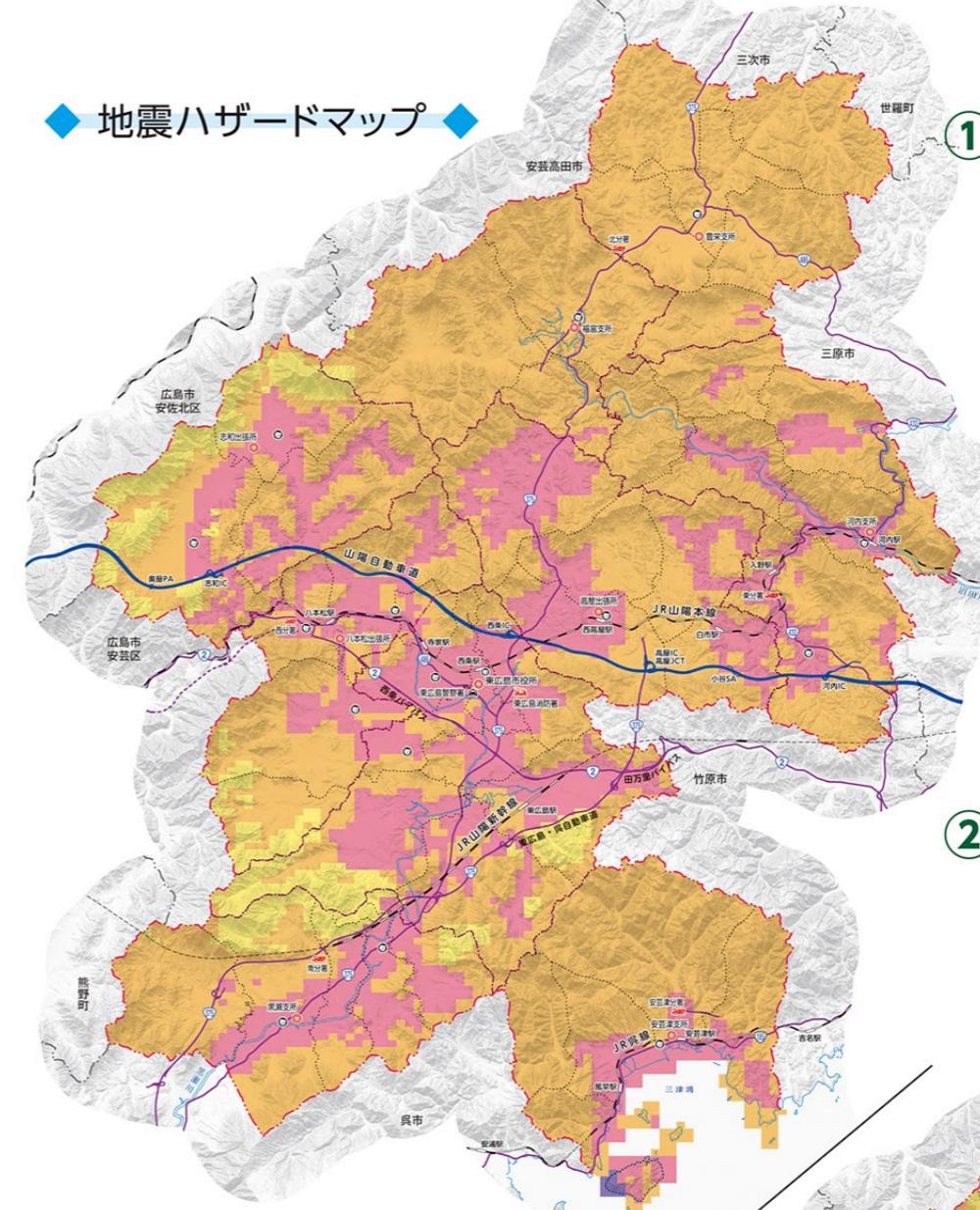


震度階級と揆れ等の状況(概要)



◆ 地震ハザードマップ

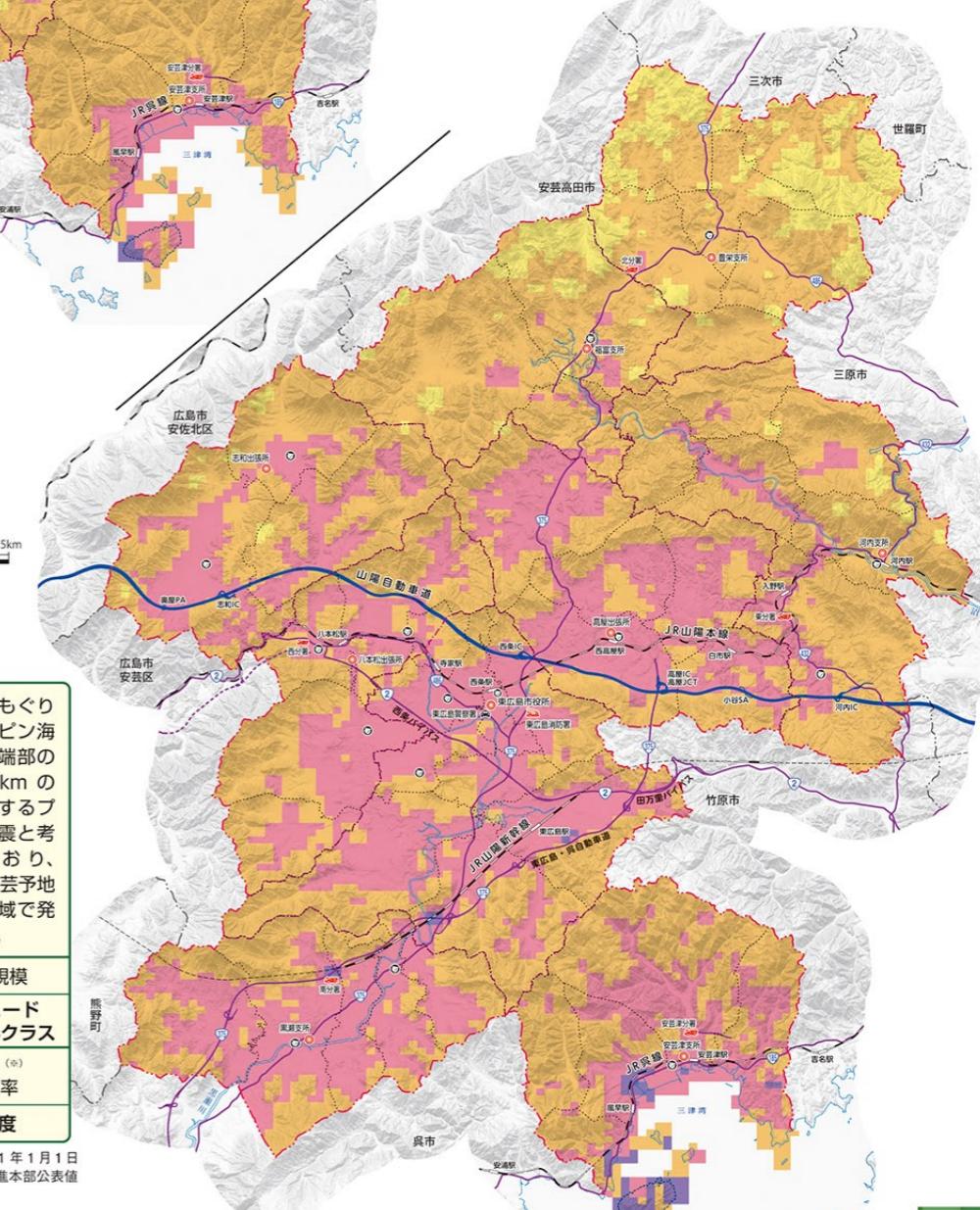
① 南海トラフ巨大地震



南海トラフ全体を一つの領域と考え、大局的には100～200年間隔で繰り返し大地震が発生しているとして評価されています。
想定地震規模
マグニチュード 8～9クラス
30年以内(※)の発生確率
70～80%

(※) 算定基準日 2021年1月1日 地震調査研究推進本部公表値

② 安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震



凡 例	
◎	災害対策本部(市役所)
●	消防署
■	消防署分署
▲	警察署
△	交番・駐在所
—	緊急輸送道路等
- - -	市界
—	鉄道
■	震度6強
■	震度6弱
■	震度5強
■	震度5弱
■	震度4
■	震度3以下
西日本へもぐり込むフィリピン海プレート先端部の地下約50kmの深部で発生するプレート内地震と考えられており、2001年の芸予地震もこの地域で発生しました。	
想定地震規模	
マグニチュード 6.7～7.4クラス	
30年以内(※)の発生確率	
40%程度	

(※) 算定基準日 2021年1月1日 地震調査研究推進本部公表値